

# 1. 道路の整備に関するプログラムとは

## 1-1 策定の目的

道路の整備に関するプログラム（以下、『プログラム』という。）とは、近年の道路をとりまく環境の変化に応じた新たな施策への取り組みを図るため、本県における道路整備の基本方針を示し、同方針に資する事業等を明らかにするものです。

本県は、2021年に中部横断自動車道の静岡―山梨間の全線開通や、新東名高速道路に接続する国道138号須走道路・御殿場バイパスの開通を迎えました。今後、リニア中央新幹線の開業を控えており、この「開通効果」を県内全域にくまなく浸透させるため、県内各地域を結ぶ新山梨環状道路や地域の幹線道路の整備を進めることで、県内各地がリニア駅を介して国内外と容易に交流できる県土づくりを推進していく必要があります。

また、近年増加傾向にある台風や集中豪雨、発生が懸念される富士山噴火、大規模地震、豪雪などの自然災害に備えるための防災・減災対策及び老朽化が進む橋梁・トンネル等の道路施設の維持管理、市街地や観光地で発生している著しい渋滞の解消など、さまざまな課題へ対応するためにも計画的な道路整備がますます重要となっています。

本県ではこのプログラムに基づき、透明性を確保しつつ、道路行政をより計画的かつ効果的に進めていきます。



## 1-2 プログラムの期間

プログラムの期間は2026（令和8）年度～2030（令和12）年度の5年間として事業箇所を示します。

道路整備プログラム(5年間)

2026(令和8)年度～2030(令和12)年度

なお、本プログラムについては、今後の社会情勢の変化などに応じて、適宜見直しを行います。

### 1-3 計画の位置づけ

本プログラムは、山梨県社会資本整備重点計画（第五次）を上位計画とし、道路の整備に関する内容に特化したものとなります。

#### 山梨県社会資本整備重点計画（第五次）

#### 本県が目指すべき社会資本整備の基本理念

社会資本整備から目指す！  
 県民一人ひとりのウェルビーイングの実現  
 ～活力があり快適で、安全安心なやまなしを未来へつなぐ～

#### 道路整備に関する課題

分野	柱	課題
活力・成長	「始まる」山梨 ・成長型経済への転換	○高速交通ネットワーク構築により期待される効果を県全域に波及させるための整備が必要 ○地域資源を活用し、県内経済の発展に活かすための整備が必要 ○甲府市周辺や富士五湖周辺の地域の実情に即した整備が必要
防災・減災	「守る」山梨 ・激甚化・頻発化する自然災害や巨大地震 ・生活環境の安全・安心の確保	○災害に対する県土の強靱化を図り、県民の生命・財産を守るための整備が必要 ○全ての人々が安心して暮らせる生活環境の維持・向上のための整備が必要
持続・スマート 「繋げる」山梨	「繋げる」山梨 ・老朽化するインフラ ・持続可能な都市づくり	○効果的・効率的で持続可能なインフラ長寿命化への取り組みが必要 ○変化する時代の要請に応じた社会基盤の整備が必要 ○持続可能な社会の構築が必要

#### 道路の整備に関するプログラム

2026～2030

本県における道路整備の基本方針を示し、同方針に資する事業等を明らかにする

## 2. 道路整備への取り組み

### 2-1 道路整備の基本方針

本プログラムにおいては、社会資本重点整備計画（第五次）に基づき、「活力・成長」「防災・減災」「持続・スマート」を3つの重点分野とし、各分野の課題に対する取り組みを進めます。

#### I. 始まる山梨【活力・成長】の重点目標

- ・リニア開業効果の県全域への波及
- ・他圏域との連携強化
- ・県内拠点間の連携強化
- ・地域観光資源の利活用
- ・活力ある市街地環境の創造
- ・安全安心な生活環境の確保

#### II. 守る山梨【防災・減災】の重点目標

- ・流域治水の推進
- ・大規模地震からの生命・財産の保護
- ・富士山噴火への備え
- ・緊急時の救護活動を支える基盤づくり
- ・災害時における道路ネットワークの強靱化



#### III. 繋げる山梨【持続・スマート】の重点目標

- ・持続可能な県土づくり
- ・将来像を踏まえたインフラの再構築



## 1. 成長型経済への転換

### ■目指すべき将来像

1. リニア開業効果の県内全域への波及と、他圏域や拠点間の連携を強化する交通ネットワークの整備を推進します。
2. 安心安全な道路交通環境の確保に取り組みます。

### ■現状

1. 県内には依然として多くの渋滞箇所が存在している。
2. 富士山周辺での入込客数増加の一方、その効果が県内全域に十分に波及していない状況。
3. 観光客が集中する一部の地域や時間帯によっては、混雑による地域住人の生活への影響が懸念



国道358号 遠光寺北交差点付近 渋滞状況



国道20号 上阿原交差点付近 渋滞状況

### ■課題

- 高速交通ネットワーク構築により期待される効果を県全域に波及させるための整備が必要です。
- 地域資源を利活用し、県内経済の発展に活かすための整備が必要です。
- 甲府市周辺や富士五湖周辺の地域の実情に即した整備が必要です。

## 重点目標1 : リニア開業効果の県全域への波及

### ■施策1 リニア駅交通結節機能の整備

- ・ リニア駅周辺の交通施設である1号線アクセス道路、メイン通り、北側交通広場、パークアンドライド駐車場の整備を推進します。  
[指標] 1号線アクセス道路の完成
- ・ リニア山梨県駅へのアクセス向上のため、事業中の甲府中央スマートIC（仮称）について、県は早期完成をNEXCO中日本に要望します。

- 主な整備路線:
- ・ (主) 甲府中央右左口線 1号線アクセス道路改築 甲府市大津町
  - ・ (主) 甲府中央右左口線 メイン通り道路改築 甲府市大津町
  - ・ 甲府中央スマートIC（仮称）整備 甲府市大津町 (中日本高速道路(株)事業)

### ■施策2 リニア駅周辺の基盤整備

- ・ リニア駅南北における施設整備の一体的な推進を視野に入れつつ、機能性及び利便性の向上はもとより「新たな山梨の玄関口」として、山梨らしい独自性と価値を備えた都市空間の創出に向け、まちづくりの主体となる甲府市をはじめ、関係機関と緊密に連携、協働して基盤整備を進めていきます。



リニア駅周辺整備の概要

### ■施策3 新山梨環状道路の整備

- リニア駅周辺エリアに直結する東部区間の整備を推進します。  
[指標] 東部区間の全線開通
- 落合西ICから東油川ICまでの区間を先行して供用します。
- 北部区間について、県は沿線自治体などとともに、国土交通省に事業中区間の整備促進及び未事業区間の早期事業化、有料道路制度の活用を要望します。

主な整備路線：  
 ・国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備 甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬  
 ・国道20号 新山梨環状道路北部区間整備 笛吹市石和町広瀬～甲斐市宇津谷（国事業）



新山梨環状道路 東部区間Ⅱ期（整備中）

新山梨環状道路 路線図

### ■施策4 リニア駅へのアクセス道路の整備

- リニア駅アクセスの向上のため、新山梨環状道路及び高速道路の各インターチェンジへのアクセス道路の整備を推進します。
- 主要駅である甲府駅とリニア駅とを結ぶ、国道358号の整備を推進します。  
[指標] リニア駅へのアクセス道路の今後5年間に於ける整備延長 R7年度 → R12年度 2.9km

主な整備路線：  
 ・国道358号 遠光寺北交差点道路改築 甲府市伊勢  
 ・（一）天神平甲府線（仮称）塚原ICアクセスバイパス整備 甲府市緑が丘～塚原  
 ・（都）新環状・緑が丘アクセス線整備 甲府市緑が丘



国道358号 遠光寺北交差点の渋滞（伊勢小前）

## 重点目標2：他圏域との連携強化

### ■施策5 高速道路ネットワーク等の整備促進

- 中部横断自動車道の山梨・長野間の全線開通に向け、未整備区間である長坂～八千穂間について、県は環境影響評価及び都市計画の手続きを確実に進めるとともに、早期事業化が図られるよう国土交通省に要望します。
- 高速道路の暫定2車線区間について、県は沿線自治体などとともに、NEXCO中日本などに4車線化の早期事業化を要望します。
- 高速道路と接続する事業中のスマートICについて、県は整備を促進するとともに、新たなスマートICの整備検討を進めます。

主な整備路線：  
・中央自動車道渋滞対策 東京都～山梨県 (中日本高速道路(株)事業)  
・中部横断自動車道(長坂～八千穂)整備 北杜市長坂町～長野県南佐久郡八千穂町 (国事業)



中部横断自動車道(長坂～八千穂)  
環境影響評価準備書及び都市計画案説明会



中央自動車道 談合坂スマートIC



山梨県の高速道路ネットワーク図

### ■施策6 多重性・代替性(リダンダンシー)確保のための道路網整備

- 道路ネットワークの機能強化や多重性・代替性を備えた道路ネットワークの整備を推進します。  
[指標]広域的な幹線道路の寸断に備えたリダンダンシーを有する道路網の今後5年における整備延長  
R7年度 → R12年度 14.0km

主な整備路線：  
・国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備 甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬  
・国道139号 上和田バイパス整備 大月市七保町瀬戸上和田  
・国道300号 中之倉バイパスⅡ期道路改築 南巨摩郡身延町中之倉



国道139号 上和田バイパス 供用区間



国道300号 中之倉バイパス 供用区間

## 重点目標3：県内拠点間の連携強化

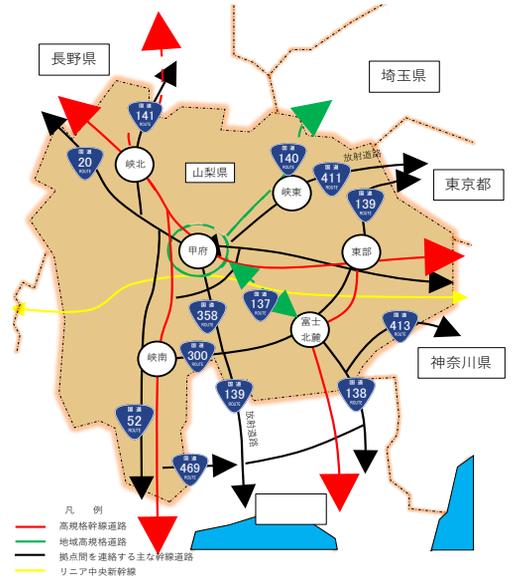
### ■施策7 県内幹線道路ネットワークの整備

- 県内拠点間を結び、利便性・アクセス性の向上を図るため、主要幹線道路などの整備を推進します。  
 [指標] 道路ネットワークに資する路線の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 21.2km

- 主な整備路線：
- ・国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備 甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬
  - ・(主) 韮崎昇仙峡線 宮久保道路改築 韮崎市穂坂町
  - ・(都) 田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田
  - ・(都) 山梨市駅南線整備 山梨市上神内川



新山梨環状道路 東部区間西下条ランプ～落合西IC



県内幹線道路網

### ■施策8 新山梨環状道路の整備

- 県内拠点間を結び、利便性・アクセス性の向上を図るため、東部区間の整備を推進します。  
 [指標] 東部区間の全線開通
- 北部区間について、県は沿線自治体などとともに、国土交通省に事業中区間の整備促進及び未事業区間の早期事業化、有料道路制度の活用を要望します。

- 主な整備路線：
- ・国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備 甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬
  - ・国道20号 新山梨環状道路北部区間整備 笛吹市石和町広瀬～甲斐市宇津谷 (国事業)

### ■施策9 県内主要都市・観光地を結ぶアクセス道路の整備

- 県内拠点間を結び、利便性・アクセス性の向上を図るため、主要幹線道路などの整備を推進します。  
 [指標] 道路ネットワークに資する路線の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 21.2km

- 主な整備路線：
- ・国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備 甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬
  - ・(主) 甲府山梨線 八幡バイパスⅡ期整備 山梨市八幡
  - ・(都) 新環状・緑が丘アクセス線整備 甲府市緑が丘
  - ・(一) 横手日野春停車場線 駒城橋架替 北杜市武川町柳沢～白州町横手
  - ・(都) 田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田



(一) 横手日野春停車場線 駒城橋架替

## ■施策10 市街地交通の円滑化の推進

- 人口集中地区の都市計画道路の整備を優先的に行い、市街地の渋滞緩和、歩行者・自転車の安全性及び生活利便性の向上を図り、快適な市街地環境の創造を推進します。  
〔指標〕 街路整備率(事業化路線) R7年度 21% → R12年度 46%

- 主な整備路線:
- ・(都)和戸町竜王線整備 甲府市城東～中央5丁目
  - ・(都)新環状・緑が丘アクセス線整備 甲府市緑が丘
  - ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田



(都) 田富町敷島線 真福寺交差点

## ■施策11 渋滞対策の推進

- 市街地の交通分散を図る新山梨環状道路の整備を推進します。
- 円滑な交通の確保と沿線環境の改善を図るため、バイパス整備、現道拡幅、交差点改良等を推進します。  
〔指標〕 渋滞箇所の今後5年間における対策箇所数 R7年度 → R12年度 22箇所

- 主な整備路線:
- ・国道358号 遠光寺北交差点道路改築 甲府市伊勢
  - ・(主) 韮崎南アルプス中央線 田富東ランプ交差点道路改築 中央市布施
  - ・(一) 富士吉田西桂都留線 上暮地バイパス整備 富士吉田市上暮地～南都留郡西桂町小沼
  - ・(都) 田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田



(主) 韮崎南アルプス中央線  
田富東ランプ交差点渋滞



国道140号  
中道橋南詰交差点渋滞

## 重点目標4：地域観光資源の利活用

### ■施策12 県内幹線道路ネットワークの整備

- 県内拠点間を結び、利便性・アクセス性の向上を図るため、主要幹線道路などの整備を推進します。  
〔指標〕 道路ネットワークに資する路線の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 21.2km

- 主な整備路線：
- ・国道411号 一之瀬高橋改築Ⅱ期バイパス整備 甲州市塩山一之瀬高橋
  - ・(一) 富士吉田西桂都留線 上暮地バイパス整備 富士吉田市上暮地～南都留郡西桂町小沼
  - ・(都) 田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田
  - ・(都) 山梨市駅南線整備 山梨市上神内川



国道411号一之瀬高橋バイパス 整備中のトンネル

### ■施策13 渋滞対策の推進

- 市街地の交通分散を図る新山梨環状道路の整備を推進します。
- 円滑な交通の確保と沿線環境の改善を図るため、バイパス整備、現道拡幅、交差点改良等を推進します。  
〔指標〕 渋滞箇所の今後5年間における対策箇所数 R7年度 → R12年度 22箇所

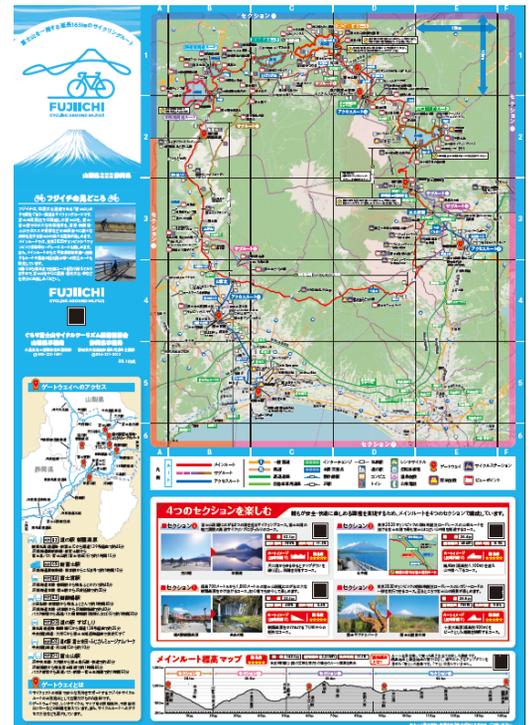
- 主な整備路線：
- ・国道358号 遠光寺北交差点道路改築 甲府市伊勢
  - ・(主) 韮崎南アルプス中央線 田富東ランプ交差点道路改築 中央市布施
  - ・(一) 富士吉田西桂都留線 上暮地バイパス整備 富士吉田市上暮地～南都留郡西桂町小沼
  - ・(都) 田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田



国道358号 遠光寺北交差点の渋滞

### ■施策14 サイクル王国やまなしの実現

- 「サイクル王国やまなし」を実現するため、安全で快適に走行できる自転車走行環境を整備します。  
〔指標〕 矢羽根の今後5年間における整備延長
- R7年度 → R12年度 25km
- フジイチをはじめとしたサイクルツーリズム（モデルルート等）の情報発信を推進します。



フジイチサイクリングマップ

## 重点目標5：活力ある市街地環境の創造

### ■施策15 市街地交通の円滑化の推進

- 人口集中地区の都市計画道路の整備を優先的に行い、市街地の渋滞緩和、歩行者・自転車の安全性及び生活利便性の向上を図り、快適な市街地環境の創造を推進します。

[指標] 街路整備率(事業化路線) R7年度 21% → R12年度 46%

- 主な整備路線:
- ・(都)和戸町竜王線整備 甲府市城東～中央5丁目
  - ・(都)新環状・緑が丘アクセス線整備 甲府市緑が丘
  - ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田

### ■施策16 コンパクト・プラス・ネットワークの推進

- 県内拠点間を結び、利便性・アクセス性の向上を図るため、主要幹線道路などの整備を推進します。

[指標] 道路ネットワークに資する路線の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 21.2km

- 主な整備路線:
- ・国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備 甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬
  - ・(一)富士吉田西桂都留線 上暮地バイパス整備 富士吉田市上暮地～南都留郡西桂町小沼
  - ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田
  - ・(都)山梨市駅南線整備 山梨市上神内川

### ■施策17 自転車走行環境の整備

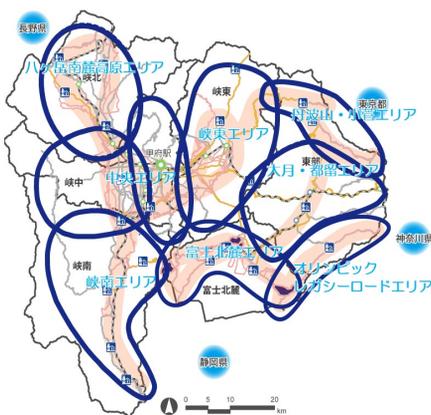
- 「サイクル王国やまなし」を実現するため、安全で快適に走行できる自転車走行環境を整備します。

[指標] 矢羽根の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 25km

- 人口集中地区の都市計画道路の整備を優先的に行い、市街地の渋滞緩和、歩行者・自転車の安全性及び生活利便性の向上を図り、快適な市街地環境の創造を推進します。

- [指標] 街路整備率(事業化路線) R7年度 21% → R12年度 46%

- 主な整備路線:
- ・(都)和戸町竜王線整備 甲府市城東～中央5丁目
  - ・(都)新環状・緑が丘アクセス線整備 甲府市緑が丘
  - ・(都)田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田



やまなし自転車ネットワーク  
モデルルートエリア



自転車通行空間  
矢羽根型路面標示

### ■施策18 街中におけるグリーンインフラの整備

- 道路植栽の健全な生育及び緑化機能の維持向上や道路利用者等の安全性を確保するため、適切な管理を実施します。また、市街地の緑被率を確保するため、道路植栽を適切に維持します。

- 都市における良好な公共空間を形成するため、都市計画道路の整備に併せて植樹帯を設置していきます。



平和通りの街路樹

## 重点目標6：安心安全な生活環境の確保

### ■施策19 コンパクト・プラス・ネットワークの推進

- ・ 毎年実施される通学路合同点検により、対策が必要とされた箇所について、速やかに安全対策を講じます。
- ・ 歩道設置や防護柵の設置等による安心・安全な歩行空間の確保を推進します。

主な整備路線：  
・（主）甲府中央右左口線 中小河原工区歩道設置 甲府市中小河原  
・（主）甲府精進湖線 中小河原工区歩道設置 甲府市中小河原  
・（一）甲斐岩間停車場西嶋線 岩間工区歩道フラット化  
西八代郡市川三郷町岩間



車道への飛び出し防止対策



通学路合同点検

### ■施策20 自転車の走行空間の確保

- ・ 「サイクル王国やまなし」を実現するため、安全で快適に走行できる自転車走行環境を整備します。  
[指標] 矢羽根の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 25km
- ・ 人口集中地区の都市計画道路の整備を優先的に行い、市街地の渋滞緩和、歩行者・自転車の安全性及び生活利便性の向上を図り、快適な市街地環境の創造を推進します。  
[指標] 街路整備率（事業化路線） R7年度 21% → R12年度 46%

主な整備路線：  
・（都）和戸町竜王線整備 甲府市城東～中央5丁目  
・（都）新環状・緑が丘アクセス線整備 甲府市緑が丘  
・（都）田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田

### ■施策21 生活道路等の人優先の歩行空間の形成

- ・ 生活道路等における歩行空間の整備を促進します。  
[指標] 今後5年間における歩道の整備延長 R7年度 → R12年度 11.4km
- ・ 幹線道路における交差点改良や改築等により、生活道路からの交通転換を促し、安全・安心な生活道路を確保します。
- ・ 第8期山梨県無電柱化推進計画と次期計画を見込んだ整備目標を設定し、国や市町村、電線管理者等と山梨県無電柱化協議会を通じた協議・調整により連携を図るとともに、無電柱化事業の計画的かつ円滑な推進に取り組んでいきます。また、早期に整備効果が発現するよう電線管理者に共同溝整備が完了した箇所の速やかな入溝及び抜柱を働きかけます。  
[指標] 電線共同溝の整備延長 R7年度 174km → R12年度 204km

主な整備路線：  
・国道139号 中曽根2工区無電柱化 富士吉田市中曽根  
・（主）甲府市川三郷線 西条Ⅱ期歩道設置 中巨摩郡昭和町西条  
・（都）桜井町敷島線整備 甲府市千塚～甲斐市島上条  
・（都）高畑町昇仙峡線整備 甲府市千塚



歩道整備による歩行者の安全確保

## ■施策22 道路におけるバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

- 歩道の設置にあたって、誰もが使いやすいようにユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、歩道のバリアフリー化を進めていきます。

主な整備路線：  
・（主）甲府南アルプス線 上今諏訪工区歩道設置 南アルプス市上今諏訪  
・国道139号 中曽根無電柱化 富士吉田市中曽根  
・（都）田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田



フラット化された歩道

## I. 山梨激甚化・頻発化する自然災害や巨大地震

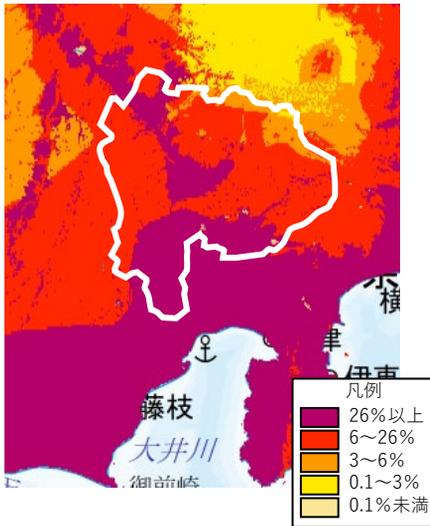
### ■ 目指すべき将来像

1. 事前防災と減災対策を着実に進めるため、道路施設の整備を推進します。
2. 被災時の緊急輸送道路の橋梁の耐震化を目指します。

### ■ 現状

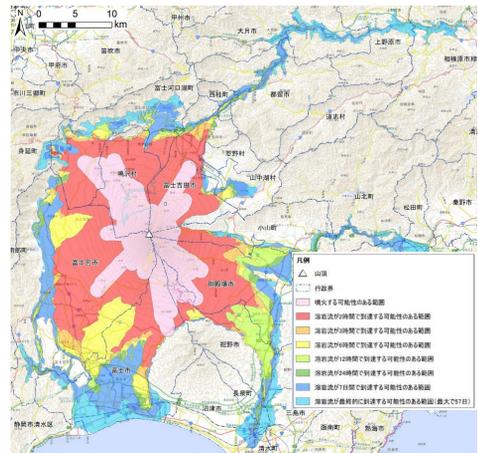
1. 気候変動に伴い激甚化・頻発化する豪雨・豪雪や将来発生が想定される南海トラフ地震等をはじめとする巨大地震や富士山火山噴火等により甚大な被害に見舞われる可能性があります。
2. 他県と繋がる道路は山岳道路が多く、交通途絶のリスクが非常に高い状況です。

#### ■ 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布（平均ケース・全地震）



出典：防災科学技術研究所「確率論的地震動予測地図」（2024年版）

#### ■ 富士山ハザードマップ・溶岩流可能性マップ



出典：富士山ハザードマップ溶岩流の可能性マップ（令和3年3月）

### ■ 課題

- 災害に対する県土の強靱化を図り、ソフト・ハード面から、県民の生命・財産を守るための社会資本整備が必要です。

## II. 生活環境の安全・安心の確保

### ■ 目指すべき将来像

1. 国・県・市町村及び住民の防災・減災を推進します。

### ■ 現状

1. 本県においては、人口千人あたりの年間死傷事故件数が全国平均を上回っている状況。
2. 公共交通機関が限られており、県民の医療機関への移動手段が自動車に依存しており、事故等による患者の救急搬送所要時間に地域間格差が生じている。

### ■ 課題

- 全ての人々が安心して暮らせる生活環境の維持・向上のための整備が必要です。

## 重点目標1：流域治水の推進

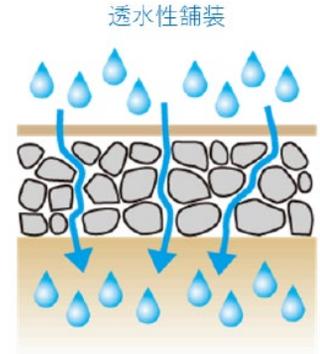
### ■施策1 流域における対策の推進

### ■施策2 流域治水におけるグリーンインフラの活用

- 雨水を貯留・浸透させて河川への排水を低減させるため、歩道における透水性舗装を推進していきます。

主な整備路線：

- (主) 甲府市川三郷線 西条Ⅱ期工区歩道設置(透水性舗装)
- (一) 甲斐中央線 築地新居工区歩道設置(透水性舗装)



透水性舗装イメージ

## 重点目標2：大規模地震からの生命・財産の保護

### ■施策2 耐震対策の推進

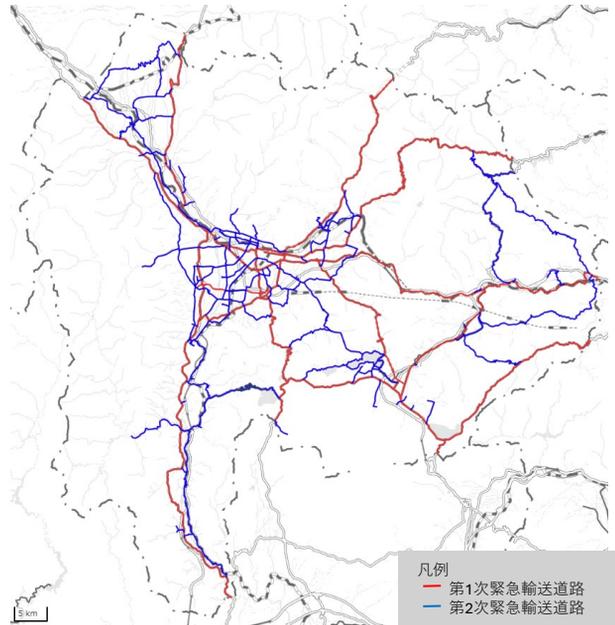
- 大規模地震時における救助・救援活動をはじめ、緊急物資の輸送や諸施設の復旧等、円滑かつ迅速な活動を確保するため、県管理橋梁の耐震補強工事を実施します。

[指標] 第1次緊急輸送道路上の橋梁の耐震化率 R7年度 92% → R12年度 100%

第2次緊急輸送道路上の橋梁の耐震化率 R7年度 75% → R12年度 80%



橋梁の耐震化



山梨県緊急輸送道路ネットワーク計画

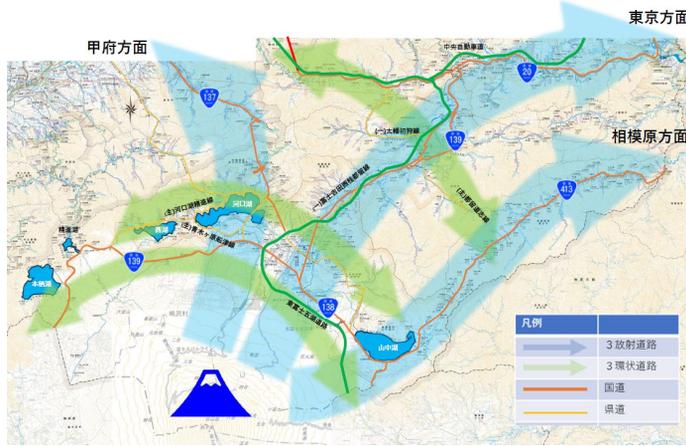
## 重点目標3：富士山噴火への備え

### ■施策3 噴火に備えた富士北麓地域における道路網の整備

- ・ 災害に強い道路を整備し、地域住民や富士山を訪れる観光客などの円滑な避難誘導を図るため、富士北麓地域から甲府方面、大月方面、相模原方面への避難路となる3方向の放射道路、それらを富士山の裾野で連絡する内環状、富士五湖の北岸沿いの中環状、さらに大月・都留・道志を結ぶ外環状（3放射3環状道路）の整備を推進します。
- ・ 富士北麓地域からの避難路となる国道137号（新たな御坂トンネル）の整備を推進します。

〔指標〕 今後5年間における富士北麓地域の道路整備延長 R7年度 → R12年度 2.0km

- 主な整備路線：
- ・ 国道300号 中之倉バイパスⅡ期道路改築 南巨摩郡身延町中之倉
  - ・ (一) 富士吉田西桂都留線 上暮地バイパス整備 富士吉田市上暮地～南都留郡西桂町小沼
  - ・ (主) 河口湖精進線（扇崎、桑崎） 道路改築 南都留郡富士河口湖町大石
  - ・ 国道137号 新たな御坂トンネル 富士河口湖町河口～笛吹市御坂町藤野木



「逃げ遅れゼロ」を実現するための3放射3環状道路

## 重点目標4：緊急時の救護活動を支える基盤づくり

### ■施策4 災害拠点病院・防災拠点へのアクセス整備の推進

〔指標〕 道路ネットワークに資する路線の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 21.2km

ICについて、県は整備を促進するとともに、新たなスマートICの整備検討を進めます。

20号（新山梨環状道路（北部区間））について、県は沿線自治体などとともに、国土交通省に事業中区間の整備促進及び未事業区間の早期事業化、有料道路制度の活用を要望します。

- 主な整備路線：
- ・ 国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備 甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬
  - ・ (一) 富士吉田西桂都留線 上暮地バイパス整備 富士吉田市上暮地～南都留郡西桂町小沼
  - ・ (都) 田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田
  - ・ (都) 山梨市駅南線整備 山梨市上神内川
  - ・ 甲府中央スマートIC（仮称）整備 甲府市大津町（中日本高速道路（株）事業）
  - ・ 国道20号 新山梨環状道路北部区間整備 笛吹市石和町広瀬～甲斐市宇津谷（国事業）



(一) 富士吉田西桂都留 上暮地バイパス（整備中）

## ■施策5 災害時の避難や救援等に備えた道路整備

- 県内各地に点在する災害拠点病院・防災拠点へのアクセス向上のため、幹線道路の整備を推進します。（再掲）  
 [指標] 道路ネットワークに資する路線の今後5年間における整備延長 R7年度 → R12年度 21.2km
- 道路法面の崩壊や落石等の危険箇所を解消するため、法面対策工等の防災対策を実施します。そのうち、緊急輸送道路や雨量規制区間においては、災害発生の危険性が高い箇所から優先的に対策を推進します。  
 [指標] 道路防災危険箇所の対策箇所数 R7年度 62箇所→ R12年度 90箇所  
 [指標] 事前雨量規制の見直し区間数 R7年度 21区間→ R12年度 31区間
- 第8期山梨県無電柱化推進計画と次期計画を見込んだ整備目標を設定し、国や市町村、電線管理者等と山梨県無電柱化協議会を通じた協議・調整により連携を図るとともに、無電柱化事業の計画的かつ円滑な推進に取り組んでいきます。また、早期に整備効果が発現するよう電線管理者に共同溝整備が完了した箇所の速やかな入溝及び抜柱を働きかけます（再掲）  
 [指標] 電線共同溝の整備延長 R7年度 174km→ R12年度 204km

主な整備路線：  
 ・国道300号 中之倉バイパスⅡ期道路改築 南巨摩郡身延町中之倉  
 ・（一）富士吉田西桂都留線 上暮地バイパス整備 富士吉田市上暮地～南都留郡西桂町小沼  
 ・（主）河口湖精進線（扇崎、桑崎）道路改築 南都留郡富士河口湖町大石



法面の崩壊



法面の崩壊対策



令和元年台風15号による電柱倒壊



無電柱化された道路



## 重点目標5：災害時における道路ネットワークの強靱化

## ■施策6 交通強靱化2.0の推進

[指標] 広域的な幹線道路の寸断に備えたりダンダンシーを有する道路網の今後5年間における整備延長  
 R7年度 → R12年度 14.0km

[指標] 道路防災危険箇所の対策箇所数 R7年度 62箇所→ R12年度 90箇所

[指標] 事前雨量規制の見直し区間数 R7年度 21区間→ R12年度 31区間

8期山梨県無電柱化推進計画と次期計画を見込んだ整備目標を設定し、国や市町村、電線管理者等と山梨県無電柱化協議会を通じた協議・調整により連携を図るとともに、無電柱化事業の計画的かつ円滑な推進に取り組んでいきます。また、早期に整備効果が発現するよう電線管理者に共同溝整備が完了した箇所の速やかな入溝及び抜柱を働きかけます。（再掲）

[指標] 電線共同溝の整備延長 R7年度 174km→ R12年度 204km

主な整備路線：  
 ・国道300号 中之倉バイパスⅡ期道路改築 南巨摩郡身延町中之倉  
 ・国道411号 一之瀬高橋改築Ⅱ期バイパス整備 甲州市塩山一之瀬高橋  
 ・（都）田富町敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田  
 ・国道358号 法面对策 甲府市古閑町  
 ・（主）甲府南アルプス線 西八幡Ⅱ期・Ⅲ期工区無電柱化 甲斐市西八幡

## I. 老朽化するインフラ

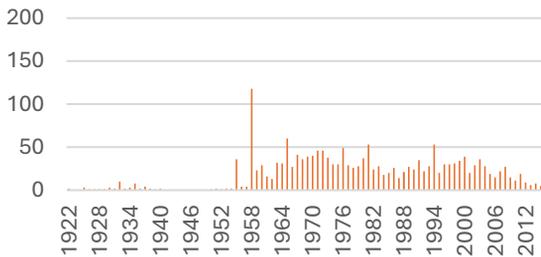
### ■ 目指すべき将来像

1. 予防保全型メンテナンスへの転換やインフラストックの適正化を通じ、将来像を踏まえたインフラの再構築に取り組みます。

### ■ 現状

1. インフラ老朽化に対する懸念と関心が高まっており、的確な維持管理や更新の重要性が高まっています。
2. インフラの老朽化は利用者の安全への脅威、日常生活等へ深刻な影響を及ぼすものであることから、インフラメンテナンスを徹底していくことが求められています。
3. 道路施設では、築50年以上を経過した橋梁が31.2%、トンネルで20.6%(2019年時点)であり、2034年には橋梁で60.1%、トンネルで43.3%と増加する状況です。

建設年度別橋梁



50年経過橋梁の割合



### ■ 課題

- 将来に向け、効果的・効率的で持続可能なインフラ長寿命化の取り組みが必要です。
- 社会経済情勢や技術革新等の変化する時代の要請に応じた社会基盤の整備が求められています。

## II. 持続可能な都市づくり

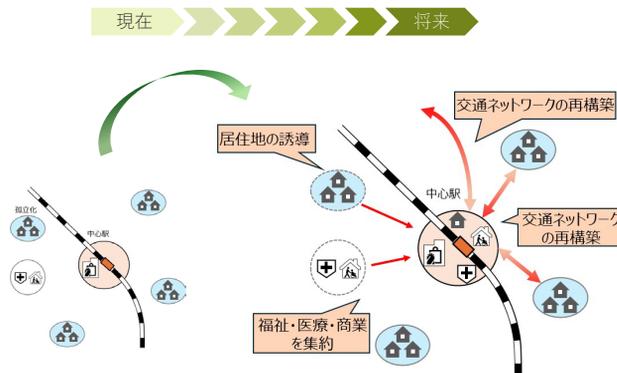
### ■ 目指すべき将来像

1. 持続可能なインフラの整備・管理・運用を推進します。
2. 「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりと脱炭素化を促進し、グリーンインフラを実装した持続可能な県土づくりを進めます。

### ■ 現状

1. 本県は脱炭素社会の実現を推進しています。
2. 集約型の都市構造への転換を継続し、都市経営コストの最適化が求められています。

■「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりのイメージ



### ■ 課題

- 持続可能な社会を構築していくことが必要です。

## 重点目標1:持続可能な県土づくり

### ■施策1 コンパクト・プラス・ネットワークの推進

- 県内拠点間を結び、利便性・アクセス性の向上を図るため、主要幹線道路などの整備を推進します。  
[指標] 道路ネットワークに資する路線の今後5年における整備延長 R7年度 → R12年度 21.2km

- 主な整備路線:
- ・国道140号 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期整備  
甲府市落合町～笛吹市石和町広瀬
  - ・(一) 富士吉田西桂都留線 上暮地バイパス整備  
富士吉田市上暮地～南都留郡西桂町小沼
  - ・(都) 田富町敷島線整備 斐市西八幡～富竹新田
  - ・(都) 山梨市駅南線整備 山梨市上神内川



(都) 山梨市駅南線 整備済区間

### ■施策2 良好な景観づくりの推進

- 第8期山梨県無電柱化推進計画と次期計画を見込んだ整備目標を設定し、国や市町村、電線管理者等と山梨県無電柱化協議会を通じた協議・調整により連携を図るとともに、無電柱化事業の計画的かつ円滑な推進に取り組んでいきます。また、早期に整備効果が発現するよう電線管理者に共同溝整備が完了した箇所の速やかな入溝及び抜柱を働きかけます。  
[指標] 電線共同溝の整備延長 R7年度 174km → R12年度 204km

- 主な整備路線:
- ・国道139号 中曽根工区無電柱化 富士吉田市中曽根
  - ・(主) 北杜富士見線 小淵沢無電柱化 北杜市小淵沢町
  - ・(一) 身延線 身延3工区無電柱化 南巨摩郡身延町身延
  - ・(都) 桜井町敷島線整備 甲府市千塚～甲斐市島上条
  - ・(都) 高畑町昇仙峡線整備 甲府市千塚



無電柱化による景観の向上

### ■施策3 グリーンインフラの推進

- 道路植栽の健全な生育及び緑化機能の維持向上や道路利用者等の安全性を確保するため、適切な管理を実施します。また、市街地の緑被率を確保するため、道路植栽を適切に維持します。
- 都市における良好な公共空間を形成するため、都市計画道路の整備に併せて植樹帯を設置していきます。



都市計画道路における植樹

## ■施策4 賑わいある都市空間の創出

- 人口集中地区の都市計画道路の整備を優先的に行い、市街地の渋滞緩和、歩行者・自転車の安全性及び生活利便性の向上を図り、快適な市街地環境の創造を推進します。

[指標] 街路整備率(事業化路線) R7年度 21% → R12年度 46%

- 主な整備路線:
- (都) 和戸町竜王線整備 甲府市城東～中央5丁目
  - (都) 田富敷島線整備 甲斐市西八幡～富竹新田

## ■施策5 脱炭素化の推進

- 道路管理において、従来の照明よりも消費電力を削減できる道路照明のLED化やパトロールカーなどにおける次世代自動車を導入することで、ライフサイクル全体のCO2排出量の削減を推進します。

[指標] 道路照明のLED化率 R7年度 77% → R12年度 100%

- 主な整備路線:
- (一) 富士河口湖芦川線 若彦トンネル照明LED化 南都留郡富士河口湖町大石～笛吹市芦川町上芦川
  - (主) 韭崎南アルプス中央線(新山梨環状道路) 道路照明LED化 南アルプス市寺部～甲府市大津町



トンネル照明のLED化

## 重点目標2 : 将来像を踏まえたインフラの再構築

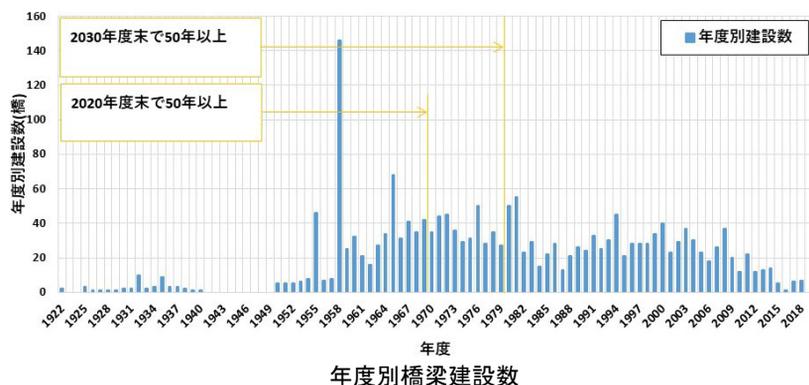
### ■施策9 施設の老朽化対策の徹底と良質なストック形成

- 道路施設に不具合が発生してからではなく、定期的に点検・診断を実施し、不具合が生じる前に修繕等を実施する「予防保全型」メンテナンスへの転換を推進し、インフラの安全確保とともに、インフラ管理に要するトータルコストの縮減と予算の平準化を図ります。

- 主な整備路線:
- (一) 富士河口湖富士線 河口湖大橋補修 南都留郡富士河口湖町河口



県管理道路における橋梁補修



## 《まとめ》道路整備の取り組み

分野・柱	課題	重点目標	施策
活力・成長 「始まる」 山梨	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速交通ネットワーク構築により期待される効果を県全域に波及させるための整備が必要。</li> <li>地域資源を利活用し、県内経済の発展に活かすための整備が必要。</li> <li>甲府市周辺や富士五湖周辺の地域の実情に即した整備が必要。</li> </ul>	1 リニア開業効果の県全域への波及	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニア駅交通結節機能の整備</li> <li>リニア駅周辺の基盤整備</li> <li>新山梨環状道路の整備</li> <li>リニア駅へのアクセス道路の整備</li> </ul>
		2 他圏域との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速道路ネットワーク等の整備促進</li> <li>多重性・代替性（リダンダンシー）確保のための道路網整備</li> </ul>
		3 県内拠点間の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内幹線道路ネットワークの整備</li> <li>新山梨環状道路の整備</li> <li>県内主要都市・観光地を結ぶアクセス道路の整備</li> <li>市街地交通の円滑化の推進</li> <li>渋滞対策の推進</li> </ul>
		4 地域観光資源の利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内幹線道路ネットワークの整備</li> <li>渋滞対策の推進</li> <li>サイクル王国やまなしの実現</li> </ul>
		5 活力ある市街地環境の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地交通の円滑化の推進</li> <li>コンパクト・プラス・ネットワークの推進</li> <li>自転車走行環境の整備</li> <li>街中におけるグリーンインフラの整備</li> </ul>
		6 安心安全な生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクト・プラス・ネットワークの推進</li> <li>自転車の走行空間の確保</li> <li>生活道路等の人優先の歩行空間の形成</li> <li>道路におけるバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進</li> </ul>
防災・減災 「守る」 山梨	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害に対する県土の強靱化を図り、ソフト・ハード面から、県民の生命・財産を守るための社会資本整備が必要。</li> <li>全ての人が安心して暮らせる生活環境の維持・向上のための整備が必要。</li> </ul>	1 治水流域の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>流域における対策の推進</li> <li>流域治水におけるグリーンインフラの活用</li> </ul>
		2 大規模地震からの生命・財産の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震対策の推進</li> </ul>
		3 富士山噴火への備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>噴火に備えた富士北麓地域における道路網の整備</li> </ul>
		4 緊急時の救護活動を支える基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害拠点病院・防災拠点へのアクセス整備の推進</li> <li>災害時の避難や救援等に備えた道路整備</li> </ul>
		5 災害時における道路ネットワークの強靱化	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通強靱化 2.0 の推進</li> </ul>
持続・スマート 「繋げる」 山梨	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来に向け、効果的・効率的で持続可能なインフラ長寿命化の取り組みが必要。</li> <li>社会経済情勢や技術革新等の変化する時代の要請に応じた社会基盤の整備が求められている。</li> <li>持続可能な社会を構築していくことが必要。</li> </ul>	1 持続可能な県土づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクト・プラス・ネットワークの推進</li> <li>良好な景観づくりの推進</li> <li>グリーンインフラの推進</li> <li>賑わいある都市空間の創出</li> <li>脱炭素化の推進</li> </ul>
		2 将来像を踏まえたインフラの再構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化対策の徹底と良質なストック形成</li> </ul>